

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
------------------	-----	---

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	11人
-------------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	1人	1人	11人

前回の改善計画	サービス利用開始前の事前訪問に可能な限り担当職員が同行し、情報収集し共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 同行訪問を行うことにより、職員間での情報共有はできた。 連絡ノートに記載されたことや情報について、聞き漏らしや見落としがあり指摘を受けた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	9	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	7	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 気遣い声掛けを意識し、慣れない環境の中不安感を少なくサービスを利用できるよう配慮した。 本人や家族に謙虚な気持ちで接した。不快な思いにならないよう傾聴し笑顔で接した。 援助のためだけの声掛けではなく、寄り添う声掛け、安心してもらえる言葉掛けを大切にしている。 本人に率直に不安や不満を聞きながら必要な援助を行っている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人の情報やニーズについて利用開始前のミーティングが不足している。 家族との接点が少なく十分な情報が得られなかったり、本人の普段の様子や状況の情報共有が難しいケースがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 紙面だけの情報収集だけでなく、利用開始前後に対面での情報共有が必要。昼礼などを利用し複数人で情報を共有できる機会を設ける。 家族との情報共有は担当職員や計画作成担当者が中心となり行うが、全職員が家族と積極的に関わる意識を持ち必要な時に迅速に連携が取れるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	2人	11人

前回の改善計画	本人の「～したい」という思いを確認し、それを達成するために具体的な計画を立て、より多く実現できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	「～したい」という思いを聞き、その内容に合わせたアクティブ活動を一部計画・実行することができたが、多くは実現することができなかった。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら可能なものから実施していきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	3	7	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	6	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	3	1	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	4	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自分の意思を言葉や相槌などで表示することができる利用者についてはほしいことの把握ができている。 日々の関わりの中で本人の希望を把握しサービスが提供できている。 ミーティングに限らず良かった点、悪かった点を申し送りノート等で周知し次の対応に活かしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自己実現のための関わりが少なく、実践にまに至らないことが多くあった。 本人のゴールを見据えた援助にまでは至っていない。 個々の利用者とはゆっくり向き合う時間が少なく、思いを汲み取ることができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> どこでどのように暮らし最期をどのように迎えたいか等、本人のゴールを具体的に知る必要がある。職員がその情報を共有し援助へ繋げていく。 コロナ禍でも日常の刺激になるようなアクティブ活動を提供していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
------------------	-----	---

3. 日常生活の支援	メンバー	11人
------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	4人	11人

前回の改善計画	担当者は利用者の以前の暮らし方10個を把握する。それらを表記し支援の中でなつかしき、楽しさが得られるような関わりを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 行事などで楽しさが得られるような関わりができた。 以前の暮らし方を10個把握できない利用者もいた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	4	5	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	3	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	1	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 体調変化などは情報共有し状況に応じた対応を行えている。変化があった場合は家族とも連絡ノートなどを通して情報共有ができた。 気持ちの変化に気づき、連携を取って即時対応や支援ができている。本人の表情、態度、動作をよく観察し会話からも変化に気付けるよう心掛けた。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の能力を活かした支援が不十分だった。 以前の暮らし方の把握が不十分だった。日常の関わりの中で聞き取り把握すればよかった。 本人の気持ちの変化に気付いたが内容によっては口頭での情報共有のみでミーティングで言語化することをしなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 過去の生活過程を踏まえた上で現在の生活環境を知り、本人の希望(したいこと)に合わせた活動を行って行く。 本人の気持ちに気付いたり聞き取った際は、連絡ノートやミーティングで共有し統一したケアに繋げる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	2人	6人	11人

前回の改善計画	どういった地域資源があるのか、どういったものが地域資源なのか分かるような機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍もあり地域との関わりができなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	7	3	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか？	0	7	1	3	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	3	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	5	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域との関係が継続できるような対応を心掛けている。職員間で情報を共有しながら家族や地域との関係が切れないうちに支援を行った。 ・本人の生活スタイルやそれを支えている人を理解して支援している。 ・訪問や送迎時に家族と会った際はコミュニケーションを取り良い関係を築くことができた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の把握ができていない。 ・民生委員と本人との関わりを知らない利用者が多い。 ・通いを利用していない時間帯(在宅時の様子)を理解していない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模職員が関わっていない時間に誰とどのように生活しているかを具体的に把握する。 ・本人が地域でどのように暮らしていきたいかを知る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	5 人	1 人	1 人	11 人

前回の改善計画	希望や状況に合わせた支援や、サービスの調整を継続して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・意向や状況に合わせた支援が行えた。 ・意向や要望を聞き、相談しながらサービス内容の調整を行った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	4	5	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	8	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	6	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	7	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・状態変化があれば情報共有を行い、その時の状況やニーズに合わせた対応を行っている。日々の変化に応じたサービスが提供できている。 ・心理的な面においても利用者に配慮したケアを行うことができた。 ・民間の配食サービスや個別ゴミ収集などの資源を活用できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・いい変化に着目できていない。気付いていても支援に活かされていない。 ・本人の意向と家族の意向に違いがあり、ニーズに応じた援助が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりから小さな変化に気付けるよう言動や表情を注視し、希望や状況に合わせた支援を今後も継続する。 ・状態悪化した場合の支援だけでなく好転した場合の支援も評価し適宜見直しを行う。ただし、評価の結果サービスの調整が可能となった場合でも利用者(家族)の生活スタイルに影響がおよび混乱に繋がると考えられる場合はどのように調整していくかも慎重に検討していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
6. 連携・協働	メンバー	11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	5人	11人

前回の改善計画	可能な限り担当者会議に担当職員も同席し、家族との連携を通して情報共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者会議に参加し、自宅での過ごし方などを理解することができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	1	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	0	10	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	0	10	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	1	10	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議に出席することで、他事業所との連携もスムーズに行うことができた。 ・担当者会議には出席できていないが、事業所内での会議は行われており参加できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍もあり地域のイベントに参加できていない。 ・介護職員が通常業務を離れ他のサービス機関との会議に参加することは業務的にも人間的にも難しく感じる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議に担当職員(業務の調整ができない場合は他の職員)が出席し、他事業所とどのように連携しているかを再認識する。 ・今後感染症が収束しイベントが開催されたら積極的に参加していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
7. 運営	メンバー	11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	0人	2人	11人

前回の改善計画	地域との関わりとして挨拶は継続し、意見、苦情に対してすぐに対応し改善できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先などで地域の方には必ず挨拶し、運転中や停車中も必ず一礼した。 ・要望や苦言に対し即対応・即改善に努めた。 ・事業所内での取組みを重視しがちで地域としての取組みはやや不足していた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	6	5	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	2	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	4	4	11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、地域からの意見は真摯に受け止め援助に反映した。 ・事業所内での業務改善や利用者のことを考えたケアについて、即時に意見を伝え相談しながら改善に努めた。 ・訪問援助での小さな出来事でも意見を述べより良い援助に繋がった。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりがなかった。 ・職員としての意見を自信のなさから言えないことがあった。 ・事業所の在り方について意見を言えていない。 ・運営推進会議が照会開催となったため参加することができなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議が開催されるようになったら計画的に職員が参加できるようにし、運営推進会議の役割や地域との協働について学ぶ。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	11人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

前回の改善計画	ミーティング時の研修の継続。事故報告やヒヤリ等の対策を提示し、一時的に理解するのではなく継続的に意識できるよう取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティング時の研修を継続できた。事故報告やヒヤリについては職員で考え評価し継続的に対策を意識するよう努めた。 ・事故報告やヒヤリに対しより良いケアを提供できるよう結び付け、対策を提示できるよう心がけた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	5	3	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	3	4	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	4	0	11

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修に参加し知識や視野を広げられた。参加できなかった時は伝達研修や書面での共有を行えた。 ・職場内研修は可能な範囲で参加できている。 ・職員間で即座に情報共有しリスクを回避するための声掛けや確認を行っている。 ・オンラインで感染(コロナ)に対する研修を行えた。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの意識が薄く取り組みも十分とはいえない。 ・事故ヒヤリへの対策が実行できていない。そのためか同じような事故やヒヤリが繰り返されている。 ・地域連絡会や職場外研修への参加ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事故報告書(ヒヤリハット)の内容及び改善策を分析し、改善策が適切に機能されているかを確認する。不足がある場合は追加や修正を行い再発防止に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年10月1日 (14:00～15:00) 令和3年10月29日 (13:30～15:00)
------------------	-----	---

9. 人権・プライバシー	メンバー	11人
--------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	3人	2人	11人

前回の改善計画	成年後見制度や個人情報、プライバシー保護に関する研修会を開く。記録や書類管理を適正に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 外部(包括)講師に成年後見人制度の研修を依頼し学ぶことができた。 記録や書類管理が適正に綿密に行われているのか再認識すべき。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	2	8	1	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	2	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 必要な利用者に対し必要な制度の利用ができている。 虐待が疑われる利用者に対し、他事業所と連携を取りながら迅速な対応を行うことができた。 拘束や虐待は自分が利用者だったらと考えて援助している。利用者の声をすくい、入浴やトイレの場面では本人が恥ずかしいと感じないように配慮している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の配慮が足りないことがある。利用者を前にしても業務の話をしてしまうことがある。 スピーチロックをしてしまうことがある。 メモやノートなどを利用者の目の届くところに出しっぱなしにしている場面が見られる。都度適切な場所に置いたり片付けるよう声掛けをしている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 机上、棚などの整頓を行い、書類管理の扱いを適正に行って行く。 日々の介護のなかで身体拘束やプライバシーについて考え、ミーティングなどの研修で学習する。 職員の会話から個人情報がもれないようより一層の配慮をする。利用者が過ごしている共有スペースで職員同士の会話が始まりそうな場合は、別の場所で話をするよう指摘し合える関係性を構築し個々の意識も向上させる。 	